

教科 科目名	地理歴史科	単位数(週あたりの授業時数)		2 単位
	歴史総合	履修学年(類型)	1 学年	普通科・MS科
教科書名(出版社名)		現代の歴史総合 みる・読みとく・考える(山川出版社)		

●学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5月	第一次世界大戦の展開	第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。また、大戦中に各国でとられた総力戦体制の内容とその影響について理解する。
	6月	ヴェルサイユ体制とワシントン体制	ヴェルサイユ条約の内容について理解する。またワシントン会議で締結された条約の内容、およびアメリカ合衆国の意図について理解する。
	7月	世界経済の変容と日本	第一次世界大戦がアジア市場に与えた影響、およびアメリカ合衆国が世界の経済的中心に移行したことについて理解する。
2	9月	アジアのナショナリズム	大戦後に高揚した朝鮮半島や中国のナショナリズムのあり方やその相違点を理解する。またナショナリズムが高揚した時期の経済的・社会的変容を理解する。
	10月	大衆の政治参加と大衆文化	欧米諸国や日本で起きた様々な社会運動の特徴と変容、および政府の対策について理解する。
	11月	世界恐慌の時代、ファシズムの伸長	アメリカ合衆国で大恐慌が発生した原因と対策、および世界への波及について理解する。ファシズムの伸長によりヴェルサイユ体制が崩壊したことを理解する。
	12月	日中戦争への道	中国国民党が南京国民政府を成立させた経緯について理解する。また日中戦争に至る背景と、戦争が長期化した理由について理解する。
3	1月	第二次世界大戦の展開	第二次世界大戦が、大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景とその情勢について理解する。また世界大戦を戦後社会の構築の観点から理解する。
	2月	国際連合と国際経済体制	世界大戦後の世界経済秩序の形成過程と背景、その特徴と新たな国際体制を理解する。
	3月	占領と戦後改革	占領と戦後改革について、その特徴と展開を冷戦体制の文脈に位置づけて理解する。また政治や社会について、戦前からの連続や断絶の観点から理解する。

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解できる。また諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、比較互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察できる。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度がみられる
B	諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、また資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をおおむね身につけている。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、比較互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的におおむね考察できる。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を追究、解決しようとする態度がおおむねみられる
C	諸課題の形成に関わる近現代の歴史の理解に乏しい。また資料から様々な情報を調べまとめる技能を身につけることが難しい。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察することが難しい。	歴史の変化に関わる諸事象について、課題を追究、解決しようとする態度を見てとれない。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査によって出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価する。 ○ 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とする。 ○ 学習活動の様子や発表、討論、授業プリントの記述などの内容を評価のための資料とする。 ○ 単元ごとに行う自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とする。 		
評価の重み	α=0.4	β=0.4	γ=0.2